

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
主な質疑	4
平成25年度決算審査	5
9月定例会 議案等審議結果一覧	6



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行
那須烏山市議会

編集
議会広報委員会

事務局
☎0287-88-7114



式典前に「ねんりんとちまる体操」を披露するここなす姫たち
(10月5日ねんりんピック栃木2014「俳句交流大会」)

9月定例会は9月2日(火)に招集され9月17日(水)まで、16日間の会期で行われました。提出された議案等の審議結果は6ページに掲載しております。

※なお、議決された議案等の内容など、詳しくは「広報那須烏山第109号」をご覧ください。

一般質問議員と質問項目 (質問順)

<p>1 正しい日本地図について</p> <p>2 道徳教育について</p> <p>3 竜巻による災害対策について</p> <p>4 河川での水難事故について</p> <p>5 那須烏山市発足10周年について</p> <p>6 祭りについて</p>	 <p>滝口 貴史 議員</p>	<p>1 男女共同参画社会の推進について</p> <p>2 地域資源活用の取り組みについて</p>	 <p>望月 千登勢 議員</p>	<p>1 指定廃棄物の最終処分場建設について</p> <p>2 外国資本等による本市内土地の買収状況と対策について</p> <p>3 国民健康保険税について</p> <p>4 児童生徒の安全対策について</p>	 <p>中山 五男 議員</p>	<p>1 激減する人口対策と人口増を図る諸施策について</p> <p>2 合併特例債の執行状況と留意点について</p>	 <p>沼田 邦彦 議員</p>	<p>1 安全で安心なまちづくりの基本的考え方について</p> <p>2 認定外道路の対応について</p> <p>3 山あげ祭りの保存振興について</p> <p>4 イノシシほか鳥獣対策について</p>	 <p>渡辺 健寿 議員</p>	<p>1 介護保険制度と高齢者福祉について</p> <p>2 本市人口減少対策について</p> <p>3 再生可能エネルギーの推進について</p> <p>4 子ども・子育て新制度について</p> <p>5 「空き家」対策について</p> <p>6 集団的自衛権行使容認に反対を</p>	 <p>平塚 英教 議員</p>	<p>1 鳥山高校の支援について</p> <p>2 家読とブックサービスについて</p> <p>3 障害者優先調達法について</p> <p>4 市有地等の有効利用について</p> <p>5 (仮称)大金駅前物産館について</p>	 <p>渋井 由放 議員</p>	<p>1 市内全域の空き家状況とその対策と活用について</p> <p>2 南那須地区の中学校合併問題について</p> <p>3 ABC/R運動の現状と成果について</p> <p>4 ジオパーク構想について</p>	 <p>久保居 光一郎 議員</p>	<p>1 JR鳥山駅前整備及びJR鳥山線について</p> <p>2 人口減少対策について</p> <p>3 商工業の振興について</p> <p>4 山あげ行事ユネスコ世界遺産登録申請について</p> <p>5 本市における農産物のブランド化について</p> <p>6 主要地方道那須烏山・御前山線の整備について</p>	 <p>相馬 正典 議員</p>	<p>1 全市民参加の介護福祉活動について</p> <p>2 市にたくさん来てもらうPR活動について</p> <p>3 学校支援の組織づくりについて</p>	 <p>小堀 道和 議員</p>	<p>1 山あげ祭のユネスコ登録に向けて市としての対応、対策について</p> <p>2 電線地中化計画の進行について</p> <p>3 境地区の整備について</p> <p>4 生ごみの対策について</p>	 <p>川俣 純子 議員</p>	<p>1 人口問題について</p>	 <p>樋山 隆四郎 議員</p>
--	---	---	--	---	---	---	---	---	---	--	---	--	---	--	---	---	---	--	---	--	---	-------------------	--

※赤字になったりしている項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

議会の動き

平成26年7月

26日 ○議会だより第33号発行

○「山あげ祭」鳥山線利用観光客お出迎え

8月

26日 ○議会運営委員会
○議員全員協議会

9月

2日 ○第4回定例会 (17日まで)

5日 ○議会広報委員会

8日 ○議会運営委員会
○議員全員協議会
○各常任委員会 (11日まで)

10月

17日 ○議会広報委員会
○議員全員協議会

10日 ○各常任委員会 (11日まで)

8日 ○議会広報委員会

3日 ○行財政改革調査特別委員会

15日 ○議会広報委員会
○議会広報委員会

1 子育て環境の充実について

2 小型家電リサイクルについて

3 緊急通報装置について



矢板 清枝 議員

平成26年9月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。
会議録は市立図書館及び市ホームページで
閲覧できます。

激減する人口対策と 人口増を図る諸施策 について

沼田 邦彦 議員

(問)本市は2040年に消滅する県内6自治体の中に含まれているが危機感と反論について市長に伺う。

(答)合併後の人口動態は想定外であり真摯に受けとめている。平成29年の目標人口3万人は困難なもの、独自の政策により実現に向けて進めている。

(問)企業誘致促進と転入者増加への道筋はトップセールスが必須条件と思うが市長の見解を伺う。

(答)同感である。本市の誇るべきセールスポイントを束ね携え、ホンダや清原工業団地関連へのトップセールスを行い1400人を目標に具体的に取り組みすることも考えている。

(問)管内事業者の業績向上の為に行政報告と感謝と激励を兼ねて事業所訪問をされてはどうかか。

(答)本市の人口対策、人

口増を図る施策を考える上で雇用対策、働く場所の確保は当然。地元事業所の業績向上が必要不可欠であり各種助成制度を創設し支援運用している。議長と相談しトップで管内事業所に10月頃から訪問し連携強化による信頼関係構築に努める。

児童生徒の安全対策 について

中山 五男 議員

(問)子供を狙う犯罪があるのを絶たない。本市児童生徒の安全対策は万全か、特に子供が1人になる通学路上での防犯対策を伺う。

(答)通学路上の安全対策は、登下校時に地域のボランティアなどの協力を得て、学校内外でのパトロールを強化している。またPTAの協力により通学路の安全点検を実施し、危険箇所の把握・改善に努めている。

(問)本市内の荒川では、昨年と今年、続けて尊い命が失われている。体育の授業の中で水泳指導の実



B&G海洋センターで行われた水泳大会での一幕

態、水難事故講習会の実施の有無、子供の泳力の把握状況について伺う。

(答)市内小中学校の内、鳥小、鳥中の2校は校内のプールを、他の6校はB&G海洋センターのプールを利用して年間8時間から10時間の水泳指導を実施している。

併せて水難事故防止の実務研修も実施している。子供の泳力については調査の結果、25歳を完泳できない子は5割程度いるため、更に水泳指導の充実を図りたい。

男女共同参画社会の 推進について

望月 千登勢 議員

(問)本市における男女共同参画推進事業の実施状況と今後の計画、及び積極的に女性の声を反映させる取り組みについて伺う。

(答)本市においては男女共同参画に対する意識啓発事業に取り組んできたが、各課横断的に推進するプランの策定までには至っていない。急激な社会情勢の変化の中、女性の活力を最大限に活用したまちづくりは重要な課題であり、審議会等での女性の登用率を平成29年度までに28・7%から35%まで引き上げる目標値を設定した。

また、若年女性の声を聞く取り組みとして、ワールドカフェ方式ここなす姫カフェを2回実施した。20、30代の職員による話し合い

によって本市の人口減少問題・魅力ある地域というテーマを全体の課題として共通認識が図られた。これによりファシリテーター(促進者)としての技術を身につけた職員たちに対話の文化が根付き、豊かな発想に富むアイデアが生まれ、活発な地域づくりにつながることを期待している。



若年女性職員によるここなす姫カフェ

正しい日本地図につ いて他

滝口 貴史 議員

(問)我が国の将来を担う子供たちが自国の領土・領海を正しく理解するために正しい日本地図を教室に掲示することはどうかか。

(答)正しい日本地図を27年度より常時掲出できるような対応をしていくつもりである。

(問)小中学校で使用している道徳授業教材である『わたしたちの道徳』を持ち帰り、有効活用すべきと考えるがどうかか。

(答)学校の教育活動はもとより、家庭での生活や学校と家庭との連携強化、地

域での活動等でも一層有効に活用されるよう努め、子供たちが道徳的価値について自ら考え、行動できる道徳的実践力を充実していく。

認定外道路の対応に ついて他

渡辺 健寿 議員

(問)分譲された団地内の生活道路で、分譲業者の倒産等により所有者が不在となっている例がある。分譲後、長年経過し傷みの著しい箇所の放置はできないと思うが市の対応を伺う。

(答)所有権の問題はあるが、団地内住民の方々等と市道認定も視野に維持管理について協議したい。なお、認定に際してはある程度の基準の緩和は考えたい。

(問)山あげ祭について、ユネスコ文化遺産登録が見込まれている中で、市としての課題・対応を伺う。

(答)若衆不足を踏まえた輪番制の維持が最も課題。関係団体等と連携し、市としてできる限り支援したい。なお、山あげ会館は山

あげ祭の情報発信基地としてリニューアルも視野に一体的整備を検討する。鳥山駅前整備は28年度までに何らかの形づくりをしたい。

(問)イノシシ対策についてだが、被害により生産意欲の減退も招きかねず、また最近では住宅地での被害報告も聞く。対応策を伺う。



イノシシ被害防止のため設置された電気柵

権の尊重、平和主義である。戦争放棄した世界に誇れる平和憲法であり、日本が戦後69年間、戦争のない平和の国として続いた原点である。今後も未来永劫、日本の恒久平和と安全が保たれることを望んでいる。議員の質問については平和憲法の趣旨に従い、国際紛争は外交努力と平和的手段での解決を望む。集団的自衛権は国家の重大事案で国民世論等において賛否が分かれており、閣議決定されたことは時期尚早でなかつたかと疑問を感じている。日本の恒久平和と安全の為に徹底した議論を展開してほしいというのが私の所感である。

市内全域の空き家状 況とその対策と活用 について

久保居 光一郎 議員

(問)空き家の数は年々増加傾向にある。このことは防災や犯罪の観点からしても深刻な問題である。本市の空き家数は何軒あるのか、また空き家があることにより近隣の住民に迷惑をかけている事案はあるか、さらには今後の空き家対策とその活用について伺う。

(答)市内の空き家数は把握していないのが現状だ。9月の補正予算で全戸調査を業務委託で実施したい。近隣に迷惑をかける事案は年間数件ある。空き家条例を制定し速やかな事案解消に寄与したい。また

集団的自衛権行使容 認に反対を

平塚 英教 議員

(問)安倍内閣の集団的自衛権行使容認の解釈による閣議決定は、戦争放棄の平和憲法に反するものであり、日本を海外で戦争する国に変える暴挙である。世論調査でも過半数の方が反対しており、撤回する以外にないと考える。日本は平和憲法を生かし、国際紛争は外交努力と平和的手段で解決を図るべきと考え、市長の見解を伺いたい。

(答)日本国憲法の3大要素は、国民主権、基本的人

活用できる空き家は空き家等情報バンクへの物件登録を促し、人口減少の一助となるよう取り組みたい。

(問) 外部への業務委託に任せるだけでなく、空き家の所有者および管理状況等については市が関与して調査すべきと思うが如何か。

(答) ただいまのご提案のとおり、所管課が連携を図れる体制で調査したいと考えている。



空き家バンクに登録された物件

家読とブックサービスについて

渋井 由放議員

(問) 図書館事業は「おはなし会」という催しがあり、烏山図書館では17回、南那須図書館では30回開催されているが、図書館に来るのはなかなか難しく参加人数は少ない。

乳幼児健診等の参加率は最低でも93・2%であり参加率が非常に高い。

そこで、本の貸し出しを乳幼児健診時に行い、次の健診時に本を持って来ていただくような事業をこども課と図書館等と一緒に

ことで検討が出来ないか。

(答) 新しい知恵をご披露いただいた。私もがやっている小中学校の取り組みを乳幼児にやるのと同じである。

本をたくさん買わなくて済むので本の種類を大幅に増やせる。明るい情報で参考になる。十分協議したい。

(問) 子供たちの将来はここにかかっていると思う。こども課だけというのはなく生涯学習課も学校教育課もみんな入って、子供たちへの読み聞かせから発展させ、それでいてお金はあまりかけないようなアイデアでやっていただきたい。

JR烏山駅前整備及びJR烏山線について

相馬 正典議員

(問) JR烏山駅前整備の、その後の進捗状況と今後の対応について伺う。

(答) 都市基盤の整備を含むJR駅前周辺整備については、中長期的な視点を持って取り組まなければ



活用が望まれる烏山駅前広場

らない一大プロジェクトになる。まずは、国、県と連携のもと、事業内容と役割分担について調整するとともに、財源の確保の検討を進める。また詳細は専門委員会を設置し、慎重かつ機能的な検討を進めたい。

一方、山あげ行事のユネスコ無形文化遺産登録まで残された期間はわずかである。多くの観光客に満足いただけるよう、現状の閑散とした寂しい空間を市の玄関口にふさわしい賑わいのある空間に改善しなければならぬと強く感じている。まずは現存する遊休施設の有効活用を検討するとともに、駅前広場を最大限に活用した那須烏山市らしい独自のおもてなしと、賑わいの場の整備を優先した取り組みを推進したい。この件は、JR烏山線沿線整備及び観光振興対策検討委員会において、スピード感を持って検討したい。

全市民参加の介護福祉活動について

小堀 道和議員

(問) 介護福祉費用は高齢者増加に伴い破綻の危機にある。健康維持の予防活動も含めて自助・共助活動に多くのボランティア参加が必要不可欠であり、参加を促すきっかけ作りとしてポイント付与制度を導入し、多くのボランティアが活発に活動する元気で明るいまちづくりを目指すべきと考えるがどうか。



向田ふれあいの里いきいきふれあいレストラン

(答) 現在、介護予防サポーターやふれあいの里のスタッフなど、ボランティアの皆様が活躍しているが、まだまだ市民への周知が不十分である。市民が興味を持って気軽に参加できる地域づくりのためにもポイント制度は画期的な取組であり先進市町村の状況を参考に検討していきたい。

(問) 高齢化により健康で元気な高齢者が同時に増えるので多くの高齢者に介護福祉活動で活躍してもらうことは一石二鳥の効果があるが期待できると考えるがどうか。

(答) 同感であり、健康増進のためにもポイント付与制度等何らかの仕組づくりを考えたい。

山あげ祭のユネスコ登録に向けて市としての対応、対策について

川俣 純子議員

(問) 山あげ祭について、人材確保対策、怪我などの保険対策、JRとの連携について伺う。

(答) 山あげ保存会と連携しながら若衆の人材バンク制度の創設について努力するとともに、議員ご提案の研修の一環としての市職員への派遣も可能なかぎり検討する。事故に遭われた方への補償は当然だが、各種イベントにおける保険の加入による対応を図りたい。JRには市の費用負担も考慮し、各種要望を行うとともに、さらに連携を密にして観光客誘致を図りたい。

(問) 電線地中化について進捗状況を伺う。

(答) 市街地整備の方向性を検討し、市の全体ビジョンとしてまとめた上で県と具体的な調整を図りたい。

(問) 茨城県に抜ける県道御前山線は横枕、大木須地区をつなぐ通りであるが、整備の進行がみられない。今後の計画はあるのか。

(答) 本格的な改修が必要であり、県に要望しているが、応急的な改修にとどまっている状況である。大変重要な路線であるので、関係者と連携し要望活動を強化したい。



ユネスコ無形文化遺産に登録申請中の山あげ行事

子育て環境の充実について

矢板 清枝議員

(問) 那須烏山市に住んで子育てがしやすいと思えるような環境づくりが必要だと考える。子育て世代を応援できる今後の施策と、保育施設等で病気になることも預かってもらえる病児・病後児保育について伺う。

(答) 平成27年4月から幼児期の学校教育や地域の子供、子育て支援を総合的に推進するために、子ども・子育て支援新制度がスタートする。その支援の一つとして、子育て援助活動支援ファミリースポーツセンター事業の導入を進める。これは、子育ての援助を受けたい人と援助を行いたい人からなる会員組織で、保育施設開始前や終了後の預かり、保育施設までの送迎、保護者の病気や急用の場合の預かり等、日常の子育てに関するさまざまなサポートを会員間相互で行うネットワークである。

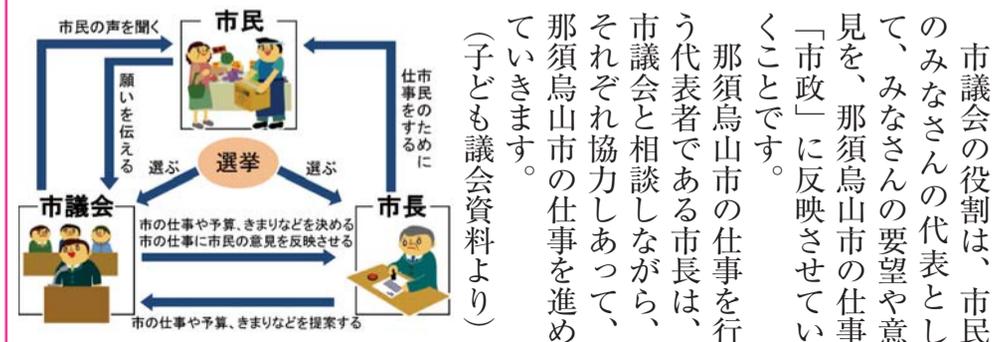
病児・病後児保育は働く保護者を支援する上で欠かせない事業のひとつであり、市内での実施が適切と考えるが、相応の人的整備・施設整備が必要となるため、保育所及び病院施設等で実施が可能か検討している。

※樋山隆四郎議員は9月定例会で一般質問をしましたが、記事掲載はありません。

議会の豆知識 議会ってなんだろっ？

市民のみなさんが、自分たちの生活に身近な問題を自分たちの力で解決することを地方自治といえます。

しかし、市民全員が集まって「くらしやすい」まちにするための話し合いを行うことはできません。そこで、市民の中から代表の人たちを選んで話し合いをしてもらいます。この代表に選ばれた人たちが市議会議員といわれ、市民に代わって役割を果たすための市議会議員の集まりを市議会とよびます。



主な質疑

9月定例会での、議員質疑の中から主なものを要約して掲載しています。
会議録は市立図書館及び市ホームページで閲覧できます。

専決処分の報告(損害賠償の額の決定及び和解について)

議員 市職員の運転する公用車の事故に関する対応と予防策について伺う。

答弁 職員の安全運転教育を強化するとともに、抑止効果を期待し公用車にドライブレコーダーを設置する。



市役所の公用車

農業公社の経営状況説明書の提出について

議員 市民ふれあい農園は40区画あるがそのうち16区画しか利用されていない。指定管理料として40万円程度が毎年支払われているが、これまでの効果を考えると、農園の削減もしくは廃止も検討すべきではないか。

答弁 これまでPR活動を続けてきたが、その成果が現れていないのが実情である。しかし、後継者不足などにより低迷する市の農業の現状を鑑み、

後継者確保のための一施策として継続したいと考える。

議員 今後は担い手不足により耕作放棄地の増大が予想されるが、これからの農業公社の役割について伺う。

答弁 今後の農業公社の役割は大変重要となる。農業後継の事務局を務めながら農業担い手育成を核となつてやるべきだと思う。農政課・公社が中心となり議論検討している。

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

議員 新しい特化された教育理念の保育所運営を認めることも見据えての制度の改正か。

答弁 小規模・家庭的保育事業のための条例制定でもあるので、そのような企業・団体等の参加も促して、那須烏山市の子育て環境の充実に努めたい。

平成26年度補正予算について

議員 元気な森づくり推進事業費665万円の内容について伺う。

答弁 小倉体験村と下川井で里山整備を行う。また、野上でイノシシ対策として環境整備を考えている。

議員 消防費における防災無線施設整備費と烏山庁舎屋上チャイム拡声器装置設置工事について伺う。

答弁 曲畑地内防災無線子局の移設を行う。また、庁舎内で流れる昼のチャイムを外部に流すためのアンブとスピーカーの増設を行う。他の事業だが関連して、無線で烏山地区のサイレンを一齐に吹鳴できるシステムを構築する予定である。

議員 烏山城について、今後引き続き調査を行う予定はあるのか。

答弁 3年後に築城600年を迎える烏山城の調査は今後も継続したい。その調査の成果をもつて、まずは市の指定遺跡とし、それから順次国の指定に向け努力したい。



烏山城址(三の丸石垣)

補修に4地区で2千万円。側溝清掃と支障木伐採で1千万円。融雪材散布機購入費4地区4台531万4千円。旭通線(初音)、一の沢鍛冶内線(上境)、道西馬場北線(野上)、しのぶヶ丘支線1号線(野上)等の舗装、改修などの費用3400万円である。

平成25年度決算に関する総括質疑

議員 緊急雇用創出および雇用再生特別事業は、過去5年間で事業数85、雇用量は481人、総額約6億4千万とあるが、各事業についての検証と支援はどのようにされているのか伺う。

答弁 これらの事業は失業者に對しての短期雇用・被災地復興の事業・生涯現役で働く全員参加型事業として実施したが、その後について調査とか検証はしていない。

議員 市政懇談会は希望する行政区で開催するとあるが、昨年度は2回であった。自治会からの希望がなくても順番に行政区で行う予定はあるか。

答弁 今後は各行政区に計画的に向いていくような懇談会の在り方について検討したい。

に本市からも出品されていると思うが、年間の販売状況について伺う。

答弁 オープンから昨年の3月末までで40万7581円で、県全体の売り上げ2億2800万からすると0.2%である。



東京スカイツリータウン内のとちまるショップ

されるものがあつた」とあつた。この事業については適正か否か。

答弁 平成25年度決算分はソフト事業とハード事業の2つの事業があり、国及び県の補助事業を活用している。どちらも「補助金等の名称等を定める規程」の中に定め、基準に沿った適正な補助をしている。

議員 熊田診療所は、高齢者の来院は増えていると思うが診療費が伸びていない。看護師もいるし、スペースもあるなら病後児保育も考えては如何か。これにより新たな患者も来院する可能性があると思われ。

答弁 熊田診療所の運営については、毎年決算時期に厳しい意見を頂いているが、地域住民の医療の確保として重要な施設であると考えている。病児病後の保育所との提案だが、さまざまな観点から慎重に検討したい。

議員 地域ブランド発信事業の1500万円は1年間で1500万円なのか、それとも継続年数の総額なのか。またその費用対効果について伺う。

答弁 この事業はCRT栃木放送と平成23年度から3年間行っているが、各年度1500万円である。国からの補助事業であり毎週木曜日、年間48回の市をPRした放送により何らかの経済効果はあつたと考えている。

JR烏山線利用促進対策特別委員会 活動報告

真夏の日差しが降り注ぐ、山あげ祭中日(なかび)の7月26日、当委員会の取り組みとして市議会議員が烏山駅前集合。烏山線を利用して、山あげ祭にお越しただいたお客様を歓迎する「お出迎え」を行いました。

宇都宮10時03分発の蓄電池駆動電車「アキユム」が満員の乗客を乗せてダイヤ通りに「山あげ祭」をモチーフにした烏山駅舎に到着。出席議員全員で横断幕を掲げ笑顔での歓迎、案内所への誘導等にお客様も笑顔で応えてくれましたが、スイカ利用者の運賃精算にかなりの時間を要してしまい今後の課題と考えました。

JR烏山線は本市と県都宇都宮を結ぶ大動脈であり、その存続と更なる利用向上を図るため、市としては烏山線沿線花構想を掲げ、ひまわりやレンゲソウの植栽などにも取り組んでいます。

委員長 高田悦男



ここなす姫たちと観光客を出迎える議員

平成25年度 決算審査

平成25年度一般会計、7特別会計、水道事業会計の決算については、各常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。

ここでは、各常任委員会での審査の中で出された意見等で本会議において報告された内容を掲載します。

総務企画常任委員会

◎所管する課等

総合政策課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会

会計課

◎歳計現金の管理運用については、金融情報等の調査研究を図るとともに、地方自治法等で認められている範囲内での運用も視野に入れ、安全かつ有利な運用に努められたい。

議会事務局

◎地方自治法において、議会の図書館は必ず設置し議員の調査研究に資するようにならなければならないとされている。本市の各種計画書等を含め、議員の調査研究に必要な書類等を配備するよう図られたい。併せて事務局側からも議会及び議員に対して必要な情報等が更に提供できるように努められたい。

税務課

◎税の徴収にあつては成果がみられ評価できる。しかし現状に満足せず、市民の信頼を得るため、尚一層の努力をされたらいい。

総合政策課

◎各種事業の早期実現とその成果を高めるためには、選択と集中が必要である。新設された秘書政策室を中心に事務

業の優先順位を見極め、効率性かつ効果的な政策及び事業が速やかに実行されるよう努められたい。

◎まちづくり団体支援事業は、その実績と成果を具体的に検証し、更なる発展に繋げられるよう努められたい。

文教福祉常任委員会

◎所管する課等

市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課、文化振興課

市民課

◎へき地医療の拠点となる熊田診療所においては、地域の医療を担うだけではなく、健康増進維持、疾病予防等のサポートをより一層進めるとともに、地域住民のふれあいの場、相談できる場、安心できる場になるよう努められたい。各診療所とも地域との信頼関係の構築に向け、さらなる努力をされたい。

健康福祉課

◎集団検診の自己負担分の軽減を開始したとのことであり、受診率の向上への効果を期待するところである。検診の受診希望は個人の考えであるとはいえず、がん検診受診率の低さは懸念するところである。市も苦慮していることとは思うが、市民の健康維持、病気の早期発見早期治療に結びつけ

るためにも、受診率向上に向けさらなる普及啓発に努められたい。

◎急速な高齢化が進む中、地域での相互扶助がさらに重要となつてきている。地域相互扶助のふれあいの里事業を拡充されたい。こども課

発達障がい又はその疑いのある子どもの増大

は大きな問題である。現状を厳しく捉え、引続き万策を尽くして対応されたい。

◎収入未済の保育料について、さらなる滞納繰越の縮小に努力されたい。

学校教育課

◎教育委員会委員には学校行事への参加のみでなく、平時に学校訪問等を行つていただき、教育現場の現状を見ていただける機会を作られたい。

◎スクールバスの運行は、子どもの安心、安全を考慮し、地区や学校によって格差が無いよう公平に対応されたい。



スクールバスに乗り込む小学生

◎B&Gプールの有効活用について、子どもの学

校教育の利用において不可欠となつてきているが、高齢者の健康維持にも有効活用されたい。

◎結婚相談員制度は、今後相談員と意見交換をし、存続すべきかどうかも含め検討されたい。

◎武道館についてであるが、震災で被災してから3年半経過しているが、未だにそのままであり、毎年地代の支出が発生している。次の武道館の整備方針を最優先に定められたい。

文化振興課

◎歴史資料館に関しては、休館も視野に入れて現状の改善に努められたらいい。併せて、資料館の構想を外部委託して行うとのことなので、一日も早く開館できるように努力されたい。

◎長者ヶ平官衙遺跡への投資については、最小限の費用で効果の上がる整備とされたい。烏山城については、築城600年を迎えるにあたり、城跡の利活用を見据えた環境整備をされたい。その際用地取得についても検討されたい。

経済建設常任委員会

◎所管する課等

農政課、商工観光課、環境課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会

化は必要不可欠である。庁内に、市の特産品開発から販路構築までを幅広く総括できる実効性を持った部署をつくるべきと考える。また、市役所だけでなく、農協や商工会や農家、さらには市内の商工業者も取り込み、市全体として継続して六次産業化に取り組める仕組みを構築されたい。

◎就農者などを対象に5年後10年後を見据えた調査を実施し、それに基づき中長期的計画を立て、市の基幹産業たる農業の生き残りに備えられたい。

農政課

◎市内の消費拡大を図るべく実施された商品券発行事業であるが、もともとある消費に商品券が充てられているだけになっていないかとの懸念がある。また、市内業者のための制度であるにも関わらず、一部の業者からは使い勝手の悪さも指摘されている。当該事業のみならず、各課の施策を展開し、市内の消費が拡大される風潮を育てられたい。

商工観光課

◎緑豊かな山々と美しい清流に囲まれた本市の里山の自然環境は、かけがえのない財産であり、資源である。しかし、残念ながらその価値は十分に認識されないでいるように思われる。学校をはじめ、家庭や地域などであらゆる機会をとらえ啓発を行い、市民一丸となつてこれを守り、育て、未来に引き継いでいく機運の醸成を図られたい。



本市が誇る美しい里山の風景

都市建設課

◎市営住宅の整備に当たっては、PFIなどを活用し、出来る限り市の財政負担の圧縮を図られたらいい。併せて、市内に戸建て、アパートを問わず活用されている状態の空き家が多く存在することを見据え、家賃補助制度などの民間の空き家を活用した住宅行政の有り方も検討されたい。

上下水道課

◎上下水道の有収率について対前年度比で約5%向上させたことは評価するが、依然として68.5%と低い水準にあることも事実である。現在作成中の老朽管更新計画を速やかに完成させ、これに基づきさらなる有収率の向上に危機感をもって取り組まれたい。なお、計画の作成、遂行にあたっては費用対効果も十分に勘案されたい。



総務課長に義援金を手渡す小森議員会長(左)

平成26年広島大雨災害により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。市議会議員会(議員の任意団体)は、被災された皆さまの救済や復旧にお役立ていただくため、2万円の義援金を寄附しました。義援金は市などを通じ被災地に送られます。

大雨災害に義援金

栃木県市議会議長会より佐藤雄次郎前議長と佐藤昇市議長(前副議長)に感謝状が送られました。

表彰

9月定例会での決定を受け「手話言語法(仮称)の制定を求める意見書」及び「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書」(どちらも陳情書の採択に伴う意見書)を関係行政庁あて提出しました。

意見書提出

9月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)

Table with 4 columns: 議案等, 審議結果, 議案等, 審議結果. Lists various budget and administrative proposals and their outcomes.

(起立による採決)

○...賛成 ●...反対 退...退席 欠...欠席

Large table for voting results. Columns include 議案等, 審議結果, and a grid of 議員別賛否一覽 (Member Voting Results) for various members.

※掲載は上程順で、議長(佐藤昇市議員)は表決に加わらない。 ※議案第6号~第7号、認定第1号~第9号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され、最終日に採決

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(☎0287-88-7114)

12月定例議会は、11月28日(金)開会予定です。

※正式な日程は、11月21日に開催される議会運営委員会で決定されます。

9月定例会において審査された請願・陳情

Table with 4 columns: 番号, 件名, 紹介議員, 審査結果. Lists petitions and requests for consideration.

9月定例会の本会議日程と傍聴者数

Table with 3 columns: 月日, 内容, 傍聴者数. Shows meeting dates, topics, and attendance numbers.

あしがき

仲秋の候、皆様には、御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、平成26年第4回那須烏山市議会が、9月2日に開会致しました。

今回の定例会は我々新人議員5人全員を含め、過去に例を見ない13人の議員が一般質問に立ちました。

本定例会の議題は、なんとと言っても人口減少問題でした。有識者会議である日本創成会議が、本年5月に公表した2040年の人口推計では、本市を含め全国896の自治体が、その機能を失い、消滅の危機にあるという衝撃的内容でした。

多くの議員が危機感を募らせ対策について市執行部に質しました。今後も更なる対策強化を市長以下執行部とともに、一致協力し図って行かねばなりません。

また、明るい話題として「山あげ行事」が平成28年秋に、ユネスコ世界文化遺産に登録を目指し申請中の事です。登録となれば本市の観光行政にとって、強力なインパクトを与え観光客の大幅な増加が期待されます。施設整備はもとより受け入れ態勢の強化が今後の課題となります。

世界文化遺産登録となり、全市をあげて祝賀行事を行いたいものです。

(相馬正典 記)

